

2013. 2. 17(日)



医療的ケアが必要な子どもの



療育フォーラム



医療的ケアが必要な子どもとご家族が、病院から在宅生活を希望し、様々な在宅医療サービスや福祉サービスを利用しながら地域生活を送るケースが増えています。このような子どもたちの地域生活や療育を考えていくうえで、当事者ご家族はもちろん、その支援者や地域の方々も理解を深め、細やかな社会的支援につなげていくことが大切だと考えます。今事業では、午前の部として、情報提供、啓蒙活動の一環とした、ドキュメンタリー映画「普通に生きる」の上映会を行い、午後の部は、県外から療育の専門家を招いて、基調講演とフォーラムを行います。今フォーラムを通して、医療的ケアが必要な子どもたちの地域生活での課題や療育について一緒に考えてみましょう。



- 日時：平成 25 年 2 月 17 日 (日)
- 会場：沖縄コンベンションセンター 会議棟 B1
(沖縄県宜野湾市真志喜 4-3-1)
- 定員：200名 (要申込・チケット制)
- 参加費：無料



＜第1部＞ 10:00 - 11:45
 ○貞末麻哉子監督 舞台挨拶
 ○「普通に生きる」上映会 (86分)



＜第2部＞ 13:30 - 16:00
 ○京都大学大学院医学研究科 教授 鈴木真知子氏による基調講演
 演題：「超重症児の子育てを支えるための在宅療養支援」
 ○医療的ケアが必要な子どもの療育フォーラム

■鈴木真知子氏プロフィール (京都大学大学院医学研究科教授)
 ○学 位・資 格：PhD (看護学)・看護師、保健師、高等学校教諭
 ○学 歴：聖路加看護大学 (学部、修士)、日本赤十字看護大学 (博士)
 ○主な研究テーマ：長期入院児の看護、小児在宅療養支援、学校における医療的ケア、重症心身障害児者に特化される訪問看護など

※上映会・フォーラムともに無料ですが、**入場にはチケットが必要**です。事前に、下記連絡先に申し込みを行って下さい。

※当日はコンベンションセンターの駐車場が利用できませんので、隣接の宜野湾港マリナーの有料駐車場をご利用ください。(1台あたり300円/日)

※託児に関して、スタッフに限りがありますので必要な方は、必ずお問い合わせください。

「私たちは、医療的ケアが必要な子どもとご家族が、病院から在宅生活を希望し、様々な在宅医療サービスや福祉サービスを利用しながら地域生活を送るケースが増えています。このような子どもたちの地域生活や療育を考えていくうえで、当事者ご家族はもちろん、その支援者や地域の方々も理解を深め、細やかな社会的支援につなげていくことが大切だと考えます。今事業では、午前の部として、情報提供、啓蒙活動の一環とした、ドキュメンタリー映画「普通に生きる」の上映会を行い、午後の部は、県外から療育の専門家を招いて、基調講演とフォーラムを行います。今フォーラムを通して、医療的ケアが必要な子どもたちの地域生活での課題や療育について一緒に考えてみましょう。」

普通に生きる

～自立をめざして～

http://www.motherbird.net/~ikru

「普通に生きる」は、医療的ケアが必要な子どもとご家族が、病院から在宅生活を希望し、様々な在宅医療サービスや福祉サービスを利用しながら地域生活を送るケースが増えています。このような子どもたちの地域生活や療育を考えていくうえで、当事者ご家族はもちろん、その支援者や地域の方々も理解を深め、細やかな社会的支援につなげていくことが大切だと考えます。今事業では、午前の部として、情報提供、啓蒙活動の一環とした、ドキュメンタリー映画「普通に生きる」の上映会を行い、午後の部は、県外から療育の専門家を招いて、基調講演とフォーラムを行います。今フォーラムを通して、医療的ケアが必要な子どもたちの地域生活での課題や療育について一緒に考えてみましょう。」

■「普通に生きる～自立をめざして～」に描かれた力

生活の場面で「でらーとらぼー」と所長 小林不二也

足跡5年におわたって当法人の取り組みを取材していただき、利用者とその家族の姿を丁寧に描っていただきました。人気が高まりました。しかし、撮影にはずいぶん心身障害者(児)の笑顔から、家に多くの人が力をもらっています。

障がい、障害、病気、高齢、仲間、人生、夫婦、自立等々、さまざまなことを考えさせてくれる素晴らしい作品だと思います。彼らから多くのことを学び、自分でいこうと努力が励みになります。

ぜひとも、お一人でも多くの人にこの映画を観ていただきたいと思っております。明日に向かって力強く生きていく勇気を、彼らからもらってください。そしてその力をあなたのお子さんや周りの人に向けてあげてください。

この映画と、利用者の笑顔にはそんな力があると確信しています。

■生活の場面で「でらーとらぼー」と社会福祉法人インクルふしは?

富士市の「でらーとらぼー」は2008年創設。富士市の「でらーとらぼー」は2009年創設。富士市富士宮市で暮らしやすい社会福祉法人(社)の取組を応援していただく「はみずき」が、様々な活動の場、地域生活を豊かにしながら立ち上げた社会福祉法人インクルふしが立ち上げた在宅サービスの拠点である。

インクルふしのホームページ <http://incle.jp>

この映画の制作、上映、ご観覧に際しては是非 **マザーバード**

TEL/FAX: 03-6913-559
E-MAIL: info@motherbird.net

普通に生きる <http://www.motherbird.net>



医療的ケアが必要な子どもの療育フォーラム 午前の部
 ドキュメンタリー映画「普通に生きる」上映会

長編ドキュメンタリー映画/SD/カラー/83分
 ©2011/制作・著作・配給：マザーバード
 撮影・プロデューサー：貞末麻哉子
 構成・編集：洪 福貴
 制作経：梨木かおり
 プレーター：長谷川初範

日時：平成25年2月17日(日) 10時から11時45分
 定員：200名 (定員に限り次第の切りますので、事前申し込みをしてチケットを入手してください)
 申し込み方法：入場は無料ですが、チケットが必要となります。下記申し込み先にご連絡下さい。
 申し込み先：一般社団法人Kukuru (くくる) 住所：沖縄県那覇市金城4-1-1レジデンスタカラ203
 Tel:098-859-8768 Fax:098-859-8769 E-mail:info@kukuruokinawa.com (担当：水川・山村)

■主催／お問い合わせ／お申込み■

一般社団法人 Kukuru (くくる) 〒901-0155 那覇市金城 4-1-1-203

電話：098-859-8768 FAX：098-859-8769 Mail：info@kukuruokinawa.com

■後援■ 沖縄県・公益財団法人みらいファンド沖縄・子どもの医療的ケア研究会・小児在宅医療基金ていんさぐの会・沖縄県教育委員会・社団法人沖縄県医師会・社団法人沖縄県薬剤師会・公益社団法人沖縄県小児保健協会・公益社団法人沖縄県看護協会・沖縄県社会福祉協議会・一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会・訪問教育親の会

※事業費の一部を公益財団法人みらいファンド沖縄の寄付と助成のプログラム「ばくと」にて運営しています。

